

根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育



根知っ子よ！10の特別使命をクリアせよ！

1. ねらい

集団での宿泊体験や10この防災にかかわる課題（MISSION）の解決を通して、自然災害や災害発生時の対応について理解を深めるとともに、生きる力を育む。

2. 期日 平成23年6月30日（木）・7月1日（金）

3. 対象 全校児童 教職員

4. 内容（想定）

来年に創立40周年を控え、根知小学校の歴史を訪ねる遠足へ、途中で震度6強の地震が発生。交通網が遮断されたため、近くの歩荷茶屋（シーサイドバレースキー場）に避難した。歩荷茶屋は、ガスは利用できるが地震の影響で地域一帯が停電・断水状態（水道は夜復旧・・・）となっていた。保護者の迎えを待つため、歩荷茶屋で一晩を過ごすことになる。児童は、遠足用の飲み水と万が一の非常食を持参していた・・・

5. 日程

1日目（6月30日） 予定のコース（約8km）：根知小学校→旧根知小学校→蒲池小学校（地滑り地帯）→歩荷茶屋



天候は、断続的な雨！

- 5：56 新潟県中越地区 震度2
- 8：16 長野県中部(糸魚川-静岡構造線上)
震度5強の地震発生
- 8：21 同上 震度4の地震発生
- 8：30 同上 震度2の地震発生

※<http://tenki.jp/earthquake/>より

これまでの雨量や断続的に降る雨、同じ断層上での地震発生を踏まえ、蒲池地区の地滑り地帯及び蒲池小学校の見学は中止し、写真スライドを用いた学習会へ変更することを決定しました。

○**出発式(1:10)** 旧根知小学校へ出発(1:45) 雨が上がり青空が…上級生が下級生を気遣い、リヤカーに乗せてあげたり…○**旧根知小学校(2:20)**



※現根知小学校は、平成11年に今の場所（もと姫川中学校）へ引っ越してきました。平成14年には、山之坊小と小滝小が統合されました。それまでの旧根知小学校は、39年前の昭和48年に、上根知小と下根知小、蒲池小の3校が統合され、もと根知中学校の場所で誕生しました。

この後予定していた蒲池小（地滑り地帯）の現地見学は地震のため中止となり、歩荷茶屋を目指して移動・・・

○MISSION2「地震だ避難せよ！」(3:00)

- ・（避難訓練）緊急地震速報が出されました。まもなく大きな地震が起きる可能性があります。倒れそうな物から離れて、広場の中央に集まり、しゃがみなさい。
- ・（…震度6強の大きな揺れ…）揺れがおさまりました。
- ・職員及び班長は、人員点呼とけがの状況を確認しなさい。（校長へ報告）
- ・周囲の状況を確認したところ…（中略）…これから歩荷茶屋へ避難します。職員の指示に従って避難しなさい。
- …（中略）…（避難後人員点呼・報告）
- ・避難が完了しました。以上で避難訓練を終わります。



○避難所(歩荷茶屋)入所式(3:15) ※MISSION3「電気と水のない夜をすごせ！」の発表

○MISSION1「地滑り地点を観察せよ！」(3:40)講師：商工農林水産課 山岸睦雄様



地滑り地帯の写真

今の蒲池小学校の写真

○班長会議(4:20)

内容：「避難所集会の進行につて」「室長の選出について」「MISSION3、4について」「先生たちは避難民であること」など



※会議の途中で、「2階でドタバタと大騒ぎ・・・」、早速このことをどうすべきか、班長たちで話し合いました。

※班長は、各部屋にもどって、避難所での過ごし方を班員へ伝え、避難経路を確認したり、避難所生活で分からないことを班員にきいて集約したりしました。

例「部屋に時計がないので時間が分かりません」の意見など

※避難所に用意されていた時計付きのライトを含め、各部屋に2つのライトが配られました。

室長は、ライトがつくか、時計がっているかなど、だれに言われることなく、自ら確かめていました。

○MISSION4「カードゲームで防災を学べ！」(5:10)



なまずの学校
紙芝居形式のクイズを楽しみながら防災について学ぶカードゲームです。
1,500円(税込)



SHUFFLE
震災時に役立つ技の手順を遊びながら学べるカードゲームです。
1,800円(税込)

「なまずの学校」と「SHUFFLE」がそれぞれ2セット用意され、2班ずつ前後半で交替して実施しました。

<http://www.plus-arts.net/> プラス・アーツのホームページより

○班長会議(6:10)

・MISSION5について

・持参した非常食(200円程度のおやつ)と、配給された1.5リットルのペットボトル5本(4班と避難民としての職員分)で過ごす。
・持参した水は食中毒予防のため飲んではいけません。

※「持参した水を捨てるのはもったいない!」「手洗いに使えばいいんじゃない!」「その考えいいね」「でもどうやって洗う」「・・・」「水をためる入れ物があるといいね」「使えそうな物をさがしてみよう!」歩荷茶屋内をさがして、おおきなボール(おけ)を見つけました。それを使って・・・

・MISSION6について

※司会進行は、班長4人で相談して決めることに・・・

○MISSION5(6:30)



※班長会議の内容を班員へ報告、持参した水で手洗いし、ペットボトルの水を分け合いました。
子どもたちにとって、おやつだけで食事をすませられることは、案外苦にならなかった?ようです・・・
非常食の中身は、パン・スナック菓子・アメ・チョコレート・バナナ・カロリーメイトなど

○MISSION6「スタンプでみんなの心を明るくせよ！」(7:15~8:30)



市教育委員会子ども課松縄先生から、避難所や地域における子どもの果たす役割（明るくする・希望）についてお話をさせていただきました。

お話の中で、とてもさびしいことの例えで、「教頭先生のいない教務室は、○が○○○たような・・・」の○○に入る言葉はなんでしょか？の問いに対して、「教頭先生がいない教務室は、ロウソクの火が消えたような・・・」（TIさん）は大うけでした。（ほとんど当たっているけど、ロウソクの火は小さいね・・・。）



クイズ



じゃんけんピラミッド



クイズ



宝さがし

時間が足りなくなって、職員ドリームチームによるスタンプをカットすることになってしまいました。

○電気のつかない夜(9:00)~朝(6:30)へ



各部屋の懐中電灯は2つしかないため、下級生がトイレに行く時は、上級生が付き添ってあげていました。

また「ベッド（1段目）で寝ている○○さんが、□□さんの上に落ちたら大変だから、ぼくが代わるよ」など、各部屋では、互いに相手のことを考えてすごしていたようです。



2日目（7月1日） 天候は、やはり断続的な雨！

○班長会議(6:40)

・MISSION7について

・・・水道の水は使えます。配給されたパン（6本入りチョコチップパン5袋、メロン？パン5袋）を4班と避難民（職員）で分けて食べる。

※「どうやって分けようか」「班でそれぞれ一袋ずつ分けよう」「あとは班で相談してきめよう」



○MISSION7「非常食をみんなで分けろ！」(7:00)



○MISSION8「根知の災害を学べ！」(8:40)



みんなで少ないパンを分け合って食べました。量が少なすぎると思いましたが、案外足りることが分りました。

講師：小田島建設の中村勉様・加藤政人様

根知の災害写真

土石流（根知川）

地滑り（大神堂）



過去、11~12年に1度、大きな災害が起きていたそうです。今年は、そろそろ・・・

○MISSION9「根知の七夕かざりをつくれ！」(9:30) 山口老人会 田上悦子様他



3. 4年生が「総合」で調べたことを発表

健康・安全を祈願!

みんなで記念撮影

○MISSION10「使ったところをきれいにせよ！」(10:15)

各班で考えて、利用した場所の後片付けとゴミ拾いを行いました。

○避難所退所式(11:00)

○根知小学校へ

○帰校式(12:00)



帰りの道中で、郵便局のみなさんからアメをいただきました。「ありがとうございました。」
心配された天候も、行きも帰りも、移動中は奇跡的に雨が降らず、全行程を歩くことができました。

関係者のコメント

①糸魚川市教育委員会こども課松縄先生から

「先日の宿泊体験学習は私の予想をはるかに超えた立派な活動であったと思います。何よりも印象的であったのは、徹底的に子ども達に考えさせる姿勢を貫き通していた点です。ともすると小学生段階では大人は手のかけすぎ、子どもは指示待ちに陥りがちですが、災害という極限状態の中では考え抜いて知恵を出すこと、臨機応変の対応ができることが何よりも重要になってくると思います。それだけに、今回の根知小の取組はそれらを見据えた先進的かつ実践的な内容であったと思います。我々が考える以上に子どもは可能性と力をもっています。今回、根知小の宿泊体験学習に同行させていただき、あの子ども達なら間違いなく、災害時においても根知の宝として活躍してくれることを確信できました。(後略…)」

②取材をされた新潟テレビ21の近藤さんから

「直前まで楽しく歩いていたのに、避難訓練が始まってからは、一転して真剣な表情になり、その姿に感動しました。」

③歩荷茶屋の伊藤さんから

「みなさんが帰った後、ルームメイクの職員が行ったら、部屋があまりにもきれいになっていたのでびっくりしたと言っていました。すごいですね。」

協力し合い、一夜明かす
根知小 交流施設で避難訓練

糸魚川市の根知小学校(400名)は、避難所として交流施設(300名)と1泊1日の1泊1日(30名)まで受け入れ、8人ずつの班に分かれて避難生活体験訓練を行った。同様に、避難所(200名)と交流施設(200名)に分かれて避難生活体験訓練を行った。同様に、避難所(200名)と交流施設(200名)に分かれて避難生活体験訓練を行った。

初日は、駐車場から約10分、6年生の高橋君さん(12)は「みんな、避難所の中で寝る場所を指定し、各自持ちお

"避難先の一夜、体験"
根知小 校外で避難訓練

糸魚川市立根知小(6)は、泊体験学習を実施した。月30日から7月1日に、通中に地震が発生する歩荷茶屋避難所(2)に立ち向かい、高橋君さん(12)は「みんな、避難所の中で寝る場所を指定し、各自持ちお

あいたのち、交通網が断たれ、電力は断たれ、食料も乏しく、避難生活は想像以上に大変なものでした。避難所の中で過ごす一夜、一人ひとりが役割を決めて乗り越えた。

避難所の中で過ごす一夜、一人ひとりが役割を決めて乗り越えた。

7月5日の新潟日報より

7月2日の糸西タイムスより

この取組の様子は、新潟日報、糸西タイムスで新聞報道され、7月5日の新潟テレビ21(UX)で放送されました。

また、活動経費(宿泊費・講師謝礼・ライト等)と印刷費のすべては、防災教育チャレンジプラン活動支援金で対応しています。



